事業所自己評価シート

令和６年度

職員による自己評価

A. 環境面

訓練室内の区分け方法を見直し、スペースをより広く活用できるように改善した。

B. 児童への支援内容

個別療育の中で継続的に評価を行い、その結果を随時保護者にも共有している。

C. 関係機関との連携

支援学校とは特に密に情報交換を行い、児童の状況や支援内容について共有している。
また、ケース会議や地域連絡会にも積極的に参加し、他のサービスとも連携を図っている。

D. 保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳アプリを活用し、毎日写真付きで報告することで、支援内容を分かりやすく伝えている。

E. 非常対応

半年ごとに訓練を実施し、その様子を保護者にも報告している。

保護者による評価

Ａ環境面

もう少し視覚的な配慮があると嬉しいです。

例えばトイレには、トイレマークがついていたりしたらわかりやすいです。

Ｂ児童への支援内容

・保護者の希望を取り入れて子供の向上の手助けをしてくれています。

・こどもに合わせた遊びや楽しい企画でいつも楽しませていただいています。

・外出の機会がもっとあると良いと思う。

・もう少し外で身体を動かせるプログラムがあるといいなと感じます。

Ｃ事業所からの情報発信

・Web 連絡帳の活動写真いつも楽しく見させていただいています。

Ｄ非常対応

・定期的に防災訓練を取り入れて頂いている。

・台風などの際の利用についてのマニュアルなどがあると助かる

事業所内での分析

【共通点】

写真付き連絡帳がわかりやすい

楽しみながら活動できるような支援内容

【相違点】

・支援室内の視覚的な配慮

・外出活動がもっとあると良い

・台風や雪などの日の利用についてのマニュアル

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 個別訓練の内容と評価
- 面談時などのご家族支援
  Web 連絡帳で毎日写真を入れて報告している
- 毎日 SNS で情報発信

事業所の改善点

- 外出行事の増加
- 支援室内の視覚的配慮
- 天候不良時の利用についてのマニュアル

事業所の改善への取り組み

班分けなどを行いながら、少しづつでも屋外での活動を実施していけるようにする。
目で見て何をするところかわかるようにマークを貼るなどの配慮を行う
天候不良の際の運営についてのマニュアル作成

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

職員が気にしていなかった内容を知ることができてよかった。
すぐに改善して、利用者満足をさらに上げていけるようにしていく。

事業所名　　アレッタ児童デイサービス阪東橋
担当者　　黒川　真帆